

診断は競泳水着のTSFはバ

【僕】「貴方が...になったら...? ああ、最近よく見るアレか...」

ツイッ◯で...診断というのを見つけたので、試しにやってみた。
競泳水着で深夜徘徊とか、中々僕好みの変態...が出てきたなど思っていたら、
「...になりますか?」という質問が出てきたので、ハイをクリツクすると、
スマホが強烈な光を放ち、僕は目がくらんで倒れた。

【僕】「新手のウィルスかよクツソ...」

視力が戻ってきた所で立ち上がるが、何か体がおかしい。
背が縮んだ? 髪が長い? 手足が細くて、競泳水着!?
僕は慌てて壁際にある姿見の所まで移動する。

【僕】「えっ? 誰だこの子...? まさか僕が!?!」

姿見には、...診断で出た通りの美少女が映し出されていた。

診断結果

あなたが...になったら...

身長: 157cm

体重: 48kg

年齢: ...歳

瞳色: 黒茶

髪色: 黒

髪型: ロング

部活: 水泳部

成績: 学年20位

趣味: 競泳水着で深夜徘徊

彼氏: いない(処女)

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



【僕】「…マジでこのクツソ美少女が僕なのかよ…にわかに信じられんな…」

僕は疑いながら、いろんな表情を浮かべたり、体を動かしてみているが、やっぱり鏡の中の美少女は、ワイと全く同じ表情と動きをしている。そもそも、自分の目から見ても、自分の体が細くしなやかで、股間にあるはず物の感覚も無く、胸にはほどよい膨らみが…。

ドキドキ

【僕】

「…よく見たらこの競泳水着、乳首透けてるじゃん。興奮してきた…」

この美少女は僕なのだから、僕の体をどうしようが僕の自由だよな。僕はそう自分に言い聞かせながら、競泳水着の上から体を触りまくった。柔らかく、すべすべで、しなやかで、競泳水着のぴっちり感が心地よい。そして僕は、水着の股間部分にある、女の子の部分を確認すべく、ドキドキしながら両足を大きく広げて、鏡に股間を向けた。







【僕】「はあっ…はあっ…」

どきどき

ぐん

ぐん

はあはあ

ぐん

ハハハ

僕は我を忘れてオナニーをした。
その間に色々わかった事があるのだが、
どうやらこの部屋は僕の部屋ではなく、
この女の子の部屋らしい。
クローゼットには制服や体操服、
様々な競泳水着が入っており、
その中にはバイブも転がっていた。
折角なのでバイブも使ってオナニーした。
つい処女膜を破ってしまったが、正直痛くなかったし
初めての相手が道具というのも、実に変態っぽくて良い。

とりあえず2時間ほどオナニーしただろうか。
それだけオナニーをしても、僕は全然満足できていない事に気が付いた。
むしろ欲求は高まるばかりで、どうすればこの興奮を鎮められるか、僕は考えた。



